

自閉症を 知っていますか？

かつては自閉症には効果・実証のある療育がないと考えられてきました。しかし近年の研究の結果、ABA(応用行動分析)という方法が、コミュニケーションや社会適応度など、自閉症の中核的症状の改善に有効であることが明らかになっています。

ABAの療育

自閉症の療育法としてのABA

● 1日どれくらいやればいいのか？

概ね週20-40時間を2年以上継続

ABA、特にEIBIと呼ばれる早期集中型ABAは1990年代から2000年代にかけて、主に米国で研究が進みました。これらの研究の結果、コミュニケーションや社会適応度の顕著な改善、一部の子どもが普通学級への介助なしの入学などの顕著な成果を出すには、概ね週20~40時間の1対1のABAに基づく療育を2年以上継続することが必要であることがわかっています。

● 公費の療育施設で習えるの？

ABAに特化した事業所は全国でもわずか数カ所。

ABA個別療育を実施している児童発達支援事業所は全国に少数ながら存在しますが、その大部分は集団療育が中心で、個別療育は週1~5時間程度にとどまっています。それ以外に訪問型ないし通所型の本格的なセラピーを提供している民間事業所もいくつかありますが、いずれも高額で、しかも都市部に集中しています。児童福祉法は、児童発達支援センター及び児童発達支援事業所(以下、児童発達支援事業所)が行うべき療育法については何の指定もしていません。つまりABAを実施することは禁止されてはいませんが、特に奨励されてもいないのが現状です。

● ABAにかかる費用はいくら？

年間約600万円の費用が予想されます。

週20時間のABA個別療育を実施するには、1人あたり年間およそ600万円の費用がかかるケースがあり、全部または一部でも公費の負担が望まれます。

ABAはすでに米国やカナダの大部分の州では
公費で実施、あるいは医療保険の対象となっています。

海外の場合



日本の場合



ウチの子は
健常者だから関係ない...

自閉症は50~100人に1人。あなたの周りにもきっといるはずですよ。

そんな事は
ありません

自閉症の半数近くが知的な遅れを伴います。一生言葉を話せない子もいます。知的な遅れがない場合も、人とうまく付き合えない、些細なことにこだわりを持つ、などの生きづらさを抱えています。しかし早期に適切な療育を受けることによってこれらの困難がかなりの程度軽減できるのです。

自閉症の子どもたちに温かい手を差し伸べて下さい。

「歩こう話そうよこはま」は自閉症啓発を促進する運動です
自閉症の子供に有効なABA療育の公費化運動にご協力ください。